

「2013 サポーターズカンファレンス」事前質問・要望事項 (回答付)

※同じ内容の質問・要望は一部集約しています。

※朱書き部分はサポカン後にベガルタ仙台で作成した回答です。未回答の部分に関しては議事録にある白幡社長、手倉森監督、山路育成部長の挨拶及び質疑応答で替えさせていただきます。

<チーム強化、育成、今シーズンの展望について>

1. 2012年にJ1で優勝出来なかった最大の理由は何だと思うか。優勝した広島との差、広島に有って仙台に無かったもの(足りなかったもの)は何だったのか。
2. 今年の補強について、ポイントはどこだったのか。また、それを満足するような補強は出来たとお考えか。
3. リーグ戦での目標はどうか。また、ナビスコカップと天皇杯はどうか。
4. ACLでの目標はどこに置いているか。ターンオーバーは現在の選手層で可能なのか。
5. 今年はACLに初出場するが、過去多くのチームがACLを戦いながらのリーグ戦で苦戦している。最近ではリーグ戦のスタートダッシュに成功して良い成績を残していたが、ACL参戦で心配している。そのACL対策について、具体的な考えを聞かせて欲しい。
6. ACLを戦うには選手層の薄さが気になる。特に朴選手と原田選手がいなくなった左サイドバックはどうするのか。センターバックも上本選手が戻るまでの陣容はこれで大丈夫か。
7. 今シーズンの新卒選手の獲得についての評価(獲得したかったが取れなかったのか、獲得すべき選手がいなかったのか)について教えて欲しい。
8. 今後の選手補強について。リーグ戦・ナビスコカップ・ACL・天皇杯の4つの大会を勝ち抜いていくには戦力(選手数)に不安を感じている。怪我等の不測の事態に備えた補強は必要になると思うが、現時点でどう考えているか。
9. ヘベルチ選手に続く外国人選手の補強の予定はないのか。
10. 主力選手の世代交代に備えた若手選手の強化方針についてどのようにお考えか。
11. 最近では、主力選手の平均年齢が上がっており、若手選手の育成・成長が急務と考えられる。この点についてどう考えているか。
12. 今回、生え抜きで主力の関口選手が移籍を決断したが、その経緯はどうだったのか。今後の教訓になるようなことはなかったのか。
13. MCL(みやぎチャレンジリーグ)は貴重な実戦の場となっていたと思うが、今シーズンはどうなるのか。また、開催する場合にはより公式戦に近い形でやって欲しいし、仙台市以外での開催も検討して欲しい。
⇒2013シーズンに関しては現在、開催する方向でそのスケジュール、形式を含めて各チームと協議中である。併せて山形や福島など宮城県以外の東北で開催する可能性も探っている状況である。
14. アカデミー組織の育成状況と今後の計画(トップチームへの昇格見込みなど)について教えて欲しい。
15. ユースからトップに上がる選手が少ない。若手育成についての現在の方針を教えて欲しい。
16. 下部組織の子供達の生活態度が悪いように思う。サッカーだけでなく、人間形成にも力をいれ

るべきではないか。

<スタジアム、練習場の環境について>

17. ユアスタのピッチ管理について。現状の管理体制について仙台市に改善を要望しているのか。また、今後の改善の見通しはどうか。
18. ユアスタの芝が酷すぎて、試合はもちろんだが今後の選手獲得にも支障が出るのではないか。仙台市にも一市民として改善要望メールを送っているが、仙台市が今後どう対応していくのか情報あれば教えて欲しい。
19. ユアスタの芝生を仙台市と協力して何とかして欲しい。新潟や鹿島の事例なども参考になると思う。

※ユアスタの芝生改善へのご要望とご意見は、他にも多数いただきました。

⇒17～19：仙台市、施設管理者、芝生業者と芝生改善のためピッチの使用方法、芝の最善の品類など抜本的改善策について何度も話し合いを行い、研究中である。現在スタジアムは芝の張替え作業をしている（全体の4割）。併せてACLに向けて芝の凍結を防ぐためにヒーター等を使用する予定であると聞いている。

20. 計画中的実況の練習場の概要と、どのように使用するのか教えて欲しい。
21. 新練習場はクラブハウスから遠くなるが、その対策はどうなっているか（選手の移動など）。できれば、練習場はクラブハウスの近くが良いと考える。
22. 練習場を新規に建設するが、トップ・レディース・下部組織が同一の敷地内でやることが理想と思われる。それについて球団はどうお考えか。また、実際にそうすることは（新練習場では）敷地的に可能なのか。
23. 今回泉サッカー場の指定管理者になったが、クラブとしてユアスタの指定管理者になる気持ちはないのか。それによって、芝生の管理や収入面などでメリットがあるのではないか。
⇒仙台市の場合、スタジアム使用料金はすべて仙台市の歳入になる。したがって、指定管理者になったからといってベガルタの収入が増えるわけではない。ユアテックスタジアム仙台は、サッカー・ラグビー・アメフトのフットボール3競技に貸し出す施設としており、ベガルタ仙台が指定管理者になった場合でも、指定管理者自らが使用权も独占はできない。芝生の管理については、きめ細かい管理ができるかもしれないが、状態が悪くなった場合は自己責任となるため、自ら利用制限をかけるなどより厳しい運営となることも考えられる。ただ泉サッカー場同様、指定管理者に手を挙げるかどうかは今後検討していく。

<試合運営、サポーター対応について>

24. 年間チケットの優先入場によりサポーター自由席の入場ゲートを分けた事で友人や同僚を誘いづらくなった。ゲート分けによってスタジアムに来なくなった人も多い。優先入場をメリットと考えるサポーターは少ないと思うので、元の形に戻して欲しい。
⇒そのような意見は頂戴したこともあるが、一方で好評いただいている面もあるため2013シーズンは継続したい。その先に関しては状況を見て判断したい。
25. 年間チケットの優先入場で、紙チケットの人の分まで座席を確保している人がいる。入場時間が遅い紙チケットの場合に座席確保が困難になっているので、席取りへの対応をしっかりとやって欲しい（年チケ者が確保できるスペースを限定するなど）。
⇒2013シーズンの課題として、警備・ボランティアと打ち合わせしてしっかりと対処したい。

26. ゴール裏の喫煙所が廃止され、東ゲートの喫煙所が混むようになった。ハーフタイムなどはコンコースで煙草を吸う人もいる。ゴール裏の喫煙所を復活して欲しい。
27. コンコース内に煙草の煙が流れないようにするなど、受動喫煙対策をしっかりとって欲しい。
⇒26, 27: 北のエントランスはスタジアムの玄関口ということで景観の面、再入場の動線が重なっており受動喫煙の観点もあり廃止した経緯があるが、お客様のストレスを軽減するために策を検討していきたい。
28. ビジターへの案内地図がわかりにくい。矢印案内が必要ではないか。
⇒案内等を設置するにあたり敷地、避難動線等の関係もあるので警察・消防と協議しながらわかりやすい案内をできるようにしていきたい。
29. 席取り後に再入場制を利用して外に買い物に行けるようになっている。再入場可能な時間帯を限定するなどして、なるべくスタジアム内に留まっていたりするような工夫が必要ではないか。そのためにも、各売店の魅力アップや控え選手の売店での助っ人なども考えて欲しい。
⇒エントランスで物産展やイベントなどを行っている関係、時間帯を規制するのは難しい。
30. S S席にそれ以外の席の方が写真撮影などで入ってくる人が多い。ゲートでの管理をしっかりとって欲しい。
⇒その時間帯に警備・ボランティアの人数を多くするなど対策を立てて対応したい。
31. 今年、宮城スタジアムを使用する予定はあるか。
⇒現在、調整中であるが可能であれば使用したい。

<集客策、営業強化、フロント業務について>

32. 会社は集客についてもっと努力できることがある（チケット価格の精査、来場者特典など）。昨年の後半は集客が好調だったが、いつ客足が落ちるか分からないので、街頭でのチラシ配布やテレビ・ラジオを使ったPRなど、常に危機感を持って対応する必要があると思う。
⇒販売動向等を見ながらきめ細やかにPR方法を考えたい。
33. サポーター自由席を狭めて作ったSバック指定席は空席が目立っていたように思う。拡大エリアの実際の集客状況（年チケ、スポンサー等）はどのような状況だったのか。サポーター自由席は常に混んでいるので来年は元に戻してはどうか。また、この拡大エリアについて、今年はどのような対応を考えているのか。
34. チケットが売り切れになっているのにスポンサー席がガラガラな状況を何とかできないか。
⇒出来るだけスポンサーにもご来場頂けるよう働き掛けたい。また、Jリーグのスポンサー席に関してはリーグに協力要請を繰り返していく。
35. 年間チケットについて、譲渡サービスの使い勝手を良くして欲しい。現状では、無駄にしまふ。そこが改善されれば、毎試合来れないサポーターも年チケが購入しやすくなるのではないかな。
⇒社内でも話題に上がっている。現在FAX、電話対応などの方法を探っている。併せて他クラブの状況も調査中である。
36. ACLやナビスコカップの決勝ラウンドについて、チケットが年間チケットの別枠となることは理解するが、同一の座席位置や、優先購入については十分に配慮して欲しい。
⇒技術的に難しいが現在改善策がないか研究中である。
37. 年間チケットなどのソシオクラブ長期継続に対するインセンティブを導入しては如何か。例えばFCバルセロナがやっているような継続期間に応じて色の違うバッジがもらえるなど。

⇒検討してみる。

38. クラブのスポンサー収入増へのビジョンを伺いたい。また、クラブとして今後5年というスパンで考えてどの程度の規模まで持っていきたいと考えているのか。

⇒広く多くの企業にご支援を頂くために、比較的協賛しやすいプランやお客様の販売推進に繋がる提案型の営業展開を推進している。来年度から第6次中期計画がスタートするが、広告協賛収入は入場料収入と並ぶ大きな収入の柱であり、金額規模も含めて現在策定中である。

39. クラブのスポンサー集めは宮城県内中心という方針でやっているのか。今後、県外での獲得などは考えていないのか。

⇒基本は地域に根差すクラブとして地方からの支援を重点にすえている。然し、宮城県に限定している訳ではない。現在、東京も含めて営業展開している。

40. グッズが一部商品に偏っている(特にタオルマフラーが多い)。サポーターのニーズをよく考えて欲しい。

⇒お客様のニーズは販売の現場である売店の係員から「お客様の要望」として定期的に伝え聞いているので、アイデアも含めて提案して頂きたい。

41. 昨年発売したアームカバーはとても良かった。普段でも使えるようなデザインのトートバッグなど、もっと実用的なものを希望する。

⇒今後も喜んで頂けるような商品を開発したい。

42. ホームゲームで、対戦相手のグッズがホーム側売店でも買えるようにして欲しい。また、人気のグッズ(タオルマフラー、ミニフラッグ、ピンバッジ等)は試合開始のかなり前に売り切れていることが多い。可能であれば対戦クラブと協議し品揃えの種類と量を工夫して欲しい。

⇒アウェイグッズの販売は相手チームの要望により実施している。今後は出来るだけ多くのチームのグッズが販売できるように、こちらからも働きかけたい。品揃えについても、お客様の要望を伝えたい。

43. ナイターの場合、試合終了時にはカーサベガルタが閉まっている。勝った時などはグッズがかなり売れると思うので、試合の日には店を開けてはどうかと思うが、いかがか。

⇒ショップの事情もあるが検討したい。

44. オンラインショップについては、サイト内の商品数が少なすぎる。カーサベガルタに注文受付もあるようだが、やはり県外の人にとってはオンラインショップの需要の方が必要だと思われる。改善策は何か考えているか。

⇒現在、委託業者と改善策について検討中であり、今年度中に改善を図る。

45. 社員の意識改善を全体的に進める必要がある。例えば、商品の買い付けから売上までコスト意識等が欠けているのではないか。楽天から社員を派遣してもらうなど考えられないか。

⇒販売仕入ともに、年間計画を策定し進めている。商品に関する情報等は、Jリーグのみならず、いろいろなルートを通じて入手し、現場と協議しながら計画に反映し実行している。

46. 会社に問い合わせをしてもたらい回しになることがある。オフィシャルホームページの更新が遅すぎる。選手のイベント出演やサイン会情報などタイムリーに知らせて欲しい。

⇒ホームページの更新に関しては、社内の各部署から情報が上がってきて、リリース情報として精査でき次第更新している。今後は更に迅速に更新できるように努める。

47. ACL出場もあるので、外国人向けに英語版公式サイトを作成してはどうか。また、公式サイトリニューアル後、過去のwebの2008年以前が消えているので復活できないか。

⇒ホームページの英語版に関しては、予算との兼ね合いもあるが、今後の検討事項として考慮し

ていきたいと思う。SNSに関する告知に関しては Facebook 等での展開も考えられるが、英語版の告知等も含めて考慮していきたい。

48. 所属選手やスタッフ陣のメディア出演情報の事前告知が足りない。せめてスタジオ生出演は漏れの無いように告知して欲しい。そのためにも Twitter 等で、もっときめ細かな告知をするべきではないか。

⇒メディア出演情報に関しては今後告知していくよう努める。スタジオの生出演に関しては、ホームページの「スケジュール」のコンテンツの中にあるチームスケジュールの「その他」の表記の部分にメディア出演情報等を載せていこうと考えている。

49. 携帯サイトを充実させて欲しい。広報が自分の言葉でクラブのことを伝える機会を増やしてはどうか。ライターさんだけの記事では取っつきにくいことがある。

⇒モバイルサイトに関しては、今後スマートフォンサイトの対応も含めて充実出来るよう努める。

<レディースチームについて>

50. レディースの使用スタジアムについて、ユアスタ中心でいくのか、現状はどのような状況なのか伺いたい。

⇒クラブとしてはユアスタを中心という考えはあるが、トップチーム(ACLの公式練習含む)の日程、他の団体との絡みもあり全試合ユアスタというのは難しいという現状。しかし可能な限りユアスタの利用を調整している。

51. 有料試合における席割りはどのように考えているのか、ユアテックスタジアムだけでも早めに公表願いたい。

⇒決定次第出来るだけ早くお知らせする。

52. 入場方法について、昨シーズンのユアテックスタジアムにおいては、前日の午前中からシート張りをするファンが多数いたが、スタジアムの席割とも関連して今年はどの様に実施する予定なのか。他の会場も含めて、いつ頃案内されるのか。また、応援の事前準備のための事前入場等の配慮はいただけるのか、伺いたい。

⇒昨年は厳密なルールを設定していなかったが今シーズンは有料試合ということもあり、ルールを事前搬入とともに設定するようにしたい。会場等の発表に関してはなでしこリーグでタイミングを調整している段階である。

53. レディースチームについて、クラブ内における位置づけは、去年はアカデミーの扱いだったと思うが、今後はどのような位置づけとなり、チームとしては何を期待され、求められる存在になるのか伺いたい。また、宮城県的女子サッカー界における位置づけについても教えていただきたい。

54. レディースの下部組織についてはどの様にお考えか。また、もしアカデミーを創設する場合、育成型のクラブとして定着させるのか、県内で育成組織が不十分な年代層、たとえば中学年代を補完する役割を担うなど様々な形態が考えられるが、どの様なお考えか伺いたい。

55. チームとして目指す(若しくは在るべき)スタイルはどのようなものか。男子のトップチームにも言えることだが、これぞベガルタという基本スタイル(戦略・戦術等)を確立して、監督の招聘やアカデミーでの育成を行うのか。それとも、その時々での監督に全て依存するのか伺いたい。前者とした場合は、目指すチーム像とアカデミーで目指す選手像・育成方針を伺いたい。

56. 選手にとっては、去年はサッカーが出来る喜びで充実した一年だったと思う。しかしながら、それぞれ異なった会社、職業に就くことにより、必ずしも全員が満足しているとも思えないが、今後もこの状況は変わらないのか。また、選手へのメンタル的なケアは考えているのか。

57. 選手とのプロ契約、チームのプロ化について、昨年のカンファレンスでは明確な回答はなかったが、現時点での「チームのプロ化」「選手とのプロ契約」についての考え方、基準についてお伺いしたい。
58. レディースについて、練習場・クラブハウスでのセキュリティ管理がもっと必要ではないか。一部のサポーターの選手へのマナーの悪さが見られる。
59. レディースチーム単体での収支はどうなっているのか。独立採算でもやっていけるレベルなのか。

<その他>

60. クラブの中期計画について、進捗状況と 2013 年度以降の取り組み方について教えて欲しい。
⇒5 つの約束（コミットメント）と 20 の行動計画（アクションプラン）からなり各主管部門を中心に取り組んでいる。3 年計画の初年度は東日本大震災で遅れが出てしまったが、3 年目の 2013 年は昨年以上に自治体や支援団体等と連携しながらドライブをかけ取り組んでいきたい。
61. 今シーズンの ACL 参戦について、航空会社等とのツアー計画はあるのか。
62. ACL の試合を、仮設住宅の入居者が見られるように、パブリックビューイングを計画してはどうか。昨年度仮設住宅を訪問して元気を出した住民も多いと思うので。
63. スタジアムの柱をベガルタカラーに出来ないか。また、埼玉スタや豊田スタのようにユアスタでもチームカラーのライトアップを試合の日だけやって欲しい。
⇒コンコースの柱の場合、試合時には広告スペースとして活用しているが、それ以外の柱に関してもベガルタ以外の団体が使用する場合外せるようなものにしなければならない。柱をベガルタカラーで覆うことはできるが常設は難しいと思う。照明灯の色を変える具体的な方法がよくわからないが、電球を変えるにしても、フィルムを差し込むにしても、費用と手間がかかる（現在使用している電球は一つ 10 万円）。
64. J リーグの秋春制へのシーズン移行の話が出ているが、移行した場合の影響の予測（現在の春開幕と比べた場合のクラブの負担の変化など）をクラブとして行なっているか。
65. J 1 の優勝争いという本来もっとももっと盛り上がってしかるべき状況にありながら、世間的には全く盛り上がらなかった印象を受けた。クラブ、マスコミ、サポーター、スポンサー、行政などが、好機が訪れた時の対応をシミュレーションしておくべきと考える。

以 上